

小田原市立病院

Odawara Municipal Hospital

広報誌

No.5
2019

エル

信頼され愛される
病院を目指して

- ② 循環器内科紹介
- ④ レボリューションCTについて
- ⑤ 緩和ケアチームについて
- ⑥ 特定看護師について
- ⑦ 市立病院を上手にご利用いただくために
- ⑧ 白内障について HEALTHY COOKING

循環器内科紹介



小田原市立病院は神奈川県西部の地域医療の中核病院です。全417床からなる総合病院であり2009年4月に救命救急センターが稼働し、2009年10月には神奈川県知事より地域医療支援病院として承認されました。小田原市民のみならずいわゆる二市八町の患者さんの医療の拠点になっています。

当院では循環器内科医師9人、2012年12月から専属の心臓血管外科医師2人の体制で循環器センターを設けており、34万人におよぶ県西地区の心臓血管救急診療を24時間365日、内科、外科の両面より担っています。循環器内科ではカテーテルやペースメーカーといった血管内からアプローチできる手術や薬物による治療を担い、心臓血管外科では主に開胸しての観血的手術が専門となります。救命救急センターの救急専門医が市民の健康が損なわれた一大事に際して診療し、必要に応じて我々が直ちに専門診療に移ることができるようになっています。主たる急性心筋梗塞や致死性不整脈など心臓血管救急疾患は一分一秒が命取りになり得るので、すば

やい連携により致命傷となりかねない患者さんを救命し、そして元気に独歩で退院可能となったときには医師冥利に尽きるところです。

当センターには日本循環器学会、日本不整脈心電学会、心臓血管外科学会といった学会より専門医認定を受けた循環器内科専門医と心臓血管外科専門医が在籍し、循環器疾患の各分野の専門的診療を提供しており、救急診療のみならず超高齢社会に突入する地域の診療のニーズにお応えすべく、専門的治療はもちろん他科とも連携し集約的に患者さん個々に応じ診療しています。それにより高齢者の患者さんやそのご家族にとって慣れ親しんだ小田原の地で医療を完結できるということも当センターの目指すところです。

昨年度は、急性心筋梗塞71例の緊急治療と43例の心臓外科手術を施行しました。1年間で総計およそ1,000人の入院患者さんが当センターを訪れましたが、その内訳は高齢社会を反映し心不全の患者さんが最も多く入院されました。治療の本題はも

もちろん症状の改善ですが、高齢者の方はその他の全身疾患の併発も少なくなく、全身管理と二次予防とって、再度症状の悪化がないように指導し理解してもらうことも大切です。そこで、入院中にはすでに行っていることですが、今後外来にて心臓リハビリテーションと心臓疾患の精密検査を行えるような仕組みを考えています。地域の診療機関とも定期的にカンファレンスを催し、患者さんの長期的な管理を目指しています。また、現代の医療はチーム医療であり、以前は医師を中心とした医療が当たり前でしたが、医師、看護師、リハビリ技師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなどが同じ立場でサークルを形成し、その中心にいる患者さんのニーズに応じた診療に従事し、スムーズに退院できるように努力しています。

以上が当センターの特色です。今後も地方の中核病院として小田原市立病院で行うべき専門的医療はしっかり行い、日常的な診療や健康管理に関しては地域の医療機関、いわゆるかかりつけ医を持っていただき、医療機関おのおのの役割と機能の分担が大切になります。



心房細動に対するカテーテルアブレーション治療



心臓カテーテル検査室

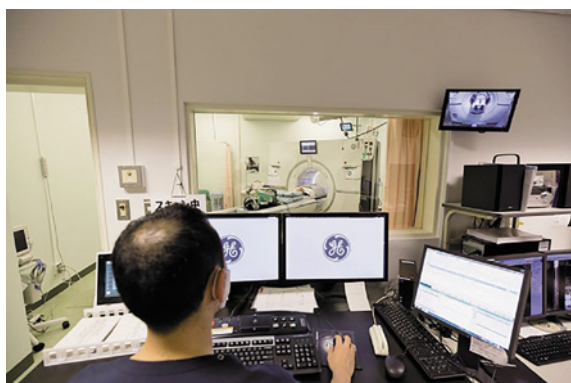
“レボリューションCT” について

小田原市立病院では、平成29年9月から、最新鋭CTスキャナー“レボリューションCT”（Revolution CT、GEヘルスケア社製、県内初号機）を導入しています。

このレボリューションCTは、256列のマルチスライスCTであり、当院では、従来からの64列マルチスライスCTとともにCT装置2台が現在稼働しています。マルチスライス（多列検出器）CT装置は従来の装置より多くの検出器が並んでいるために大量データの取得が可能であり、撮像時間の短縮や、画質の高密度化が実現されています。今回導入されたレボリューションCTは検出器が256列のため1回転（一つの検出器の幅0.625mm）で16cm幅の撮影

が可能になりました。高速テーブル移動と超高速画像処理を組み合わせることにより、スキャン時に被検者の呼吸や体動による影響を最小限に抑えられます。頭部、心臓、小児や救急撮影は最速1秒での撮影が可能です。

高性能検出器をはじめとするハードウェアの向上により高画質化がもたらされ、従来検出しづらかった細部まで描出できるようになり、頭部血管、肝臓血管などの4D撮影やPerfusion撮影が可能となりました。また、新技術のハード、ソフトウェアにより、各種ノイズアーチファクトを低減し、より低被ばくの撮影が可能となっています。放射線感受性の高い特定領域への被ばくを極力抑え、画像クオリティを落とすことなく撮影できるようになりました。また、新規CT装置には、Dual Energy機能と呼ばれる最先端技術も搭載されています。この技術に関しては現在多くの研究が施行されており、通常のCTより詳細な物質分別が可能となる、画質に悪影響を及ぼす金属などからのアーチファクトを軽減できる、従来と比べてより少ない量の造影剤で十分な増強効果が得ることが可能となるなどの従来のCTを用いることでは困難であった多くの利点が報告されています。



緩和ケアチームについて

緩和ケアチームの活動は、がん患者さんとその家族の「つらい」という言葉を聞いたときから始まります。

緩和ケアは診断時、治療中、治療後、療養といった治療の有無にかかわらず受けられます。がんになって生じた「つらさ」は、痛みや息苦しいというからだの症状、眠れない、気分が落ち込むなどのこころの症状、仕事・家族の問題や治療費などの社会的な問題、再発の恐怖や死の恐怖といった心理的な問題、人生の意味や価値観の変化など実存的な問題などさまざまです。

緩和ケアチームは、患者さんと家族のさまざまな「つらさ」に対応できるように医師や看護師、薬剤師のほかメディカルソーシャルワーカー、管理栄養士、リハビリセラピストなど多職種で構成しています。緩和ケアの目的は「つらさ」が少しでも和らぐことでがん治療をより長く続けることや「つらさ」で障害された日常生活を取り戻すことです。わたしたちは診断から治療および療養まで患者さんとその家族と一緒に悩み、一緒に考え、一緒がんと闘う気持ちです。患者さんとその家族がチームの扉をたたいていただくのを待っています。「緩和ケアチームと会ってみたい、話をしてみたい」と思ったときは主治医や外来・病棟看護師に希望を伝えてください。基本は外来診療において「つらさ」の内容により緩和ケア科または心身医療科の受診となります。早急な対応が必要な場合は主治医の外来で相談させていただくことがあります。入院中の患者さんは緩和ケアチームが毎日ベッドサイドまで伺い「つらさ」がはやく和らぐように主治医や担当看護師と相談の上、サポートを行います。大事な人ががんになったとき、家族にも様々な問題がおこります。緩和ケアチームは家族のサポートもします。

一人で悩まないでご相談ください。



緩和ケアチーム

活躍が期待される「特定看護師」について

最近、「特定看護師」という言葉を聞いたことがありますか？

特定看護師とは、「特定行為研修」という研修を受講した看護師のことを指しますが、法律上「特定看護師」という資格はありません。

特定行為研修とは、チーム医療を推進し、看護師がその役割をさらに発揮するため、厚生労働省がつくった仕組みです。

今後ますます加速する超高齢社会においては、安心で、安全かつ効果的な医療・看護を効率的に提供することがさらに求められます。病気を抱えながら生活する人々が増える中、「治療」と「生活」の両面から患者を捉え、身体と心の状態の変化を予測しながら必要なケアを提供する看護職への期待はますます大きくなってきています。

そのような中、特定看護師になると、医師が不在でも、あらかじめ医師と取り決めた手順書に基づき医療行為が出来るようになります。その実施に当たっては、医師と密に連携し実施していくことになります。

例えば、脱水症状を起こした患者さんがいたとします。

通常であれば、看護師は医師の指示を仰いだうえで、点滴などの処置を行います。

しかし、特定行為研修を受講した特定看護師が対応する場合は、患者さんからの同意をいただくことが必要ですが、医師から出された指示書に従い、速やかに医療行為が行えます。

小田原市立病院では、皮膚・排泄ケア認定看護師が、特定行為研修を修了し、特定看護師として活躍しています。

特定行為区分として、創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連が出来るようになりました。



病院の中だけでなく、地域施設に出向き医療行為を行うことも可能です。

特定看護師は、医師の指示のもと、安全に配慮して医療行為を行います。患者さんはその実施をいつでも拒否できます。それによる不利益はありません。

特定看護師には特定行為に関連する病気や症状に関する知識と患者さんの容態を見極める判断力が求められます。

特定看護師は、超高齢社会での活躍を期待されています。



皮膚・排泄ケア認定看護師
特定行為研修修了者
清水 けい子

～市立病院を上手にご利用いただくために～

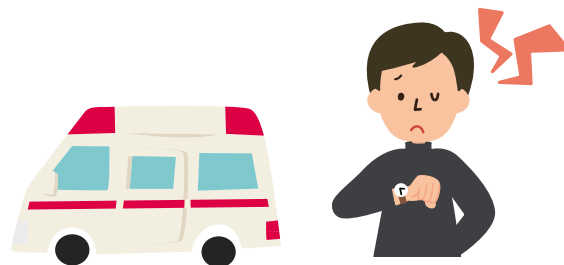
1 医療機関の役割分擔って、なに？

救急搬送された患者さんや専門的な検査・入院治療を必要とする患者さんは地域医療支援病院の市立病院が担当し、継続的な診療や投薬などで症状が安定している患者さんは地域の医療機関（かかりつけ医）が担当する！これが、国の指針に基づき全国的に進められている医療機関の役割分擔です。



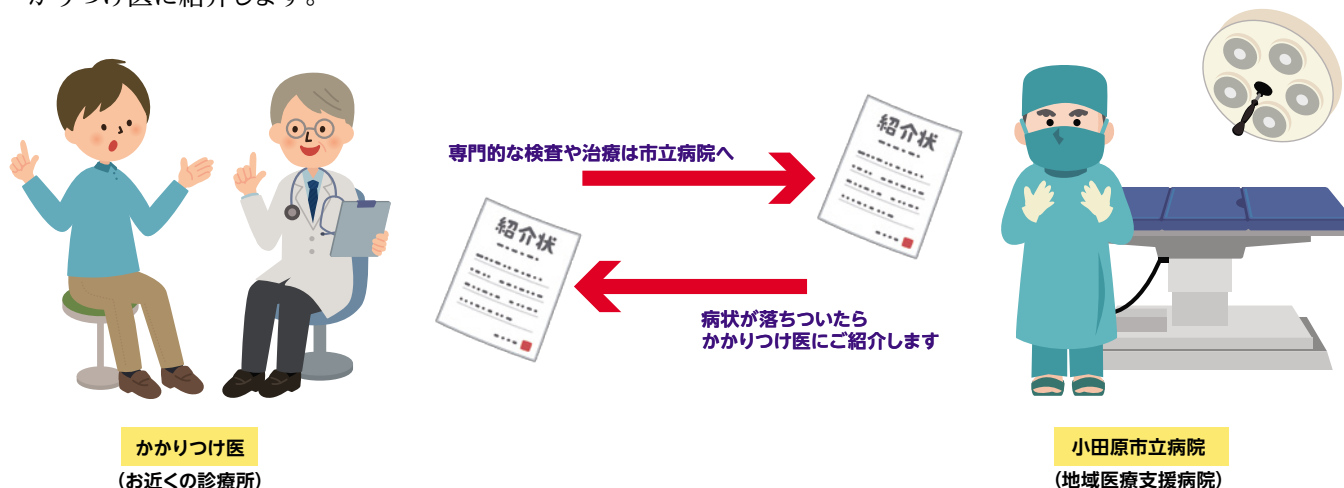
2 何が問題なの？

市立病院には1日に約1,100人の患者さんが外来診療にいらしていますが、病院規模からすると外来患者数が大変多いため、重症患者さんの診療に影響するおそれや待ち時間が長い、といった課題が出ています。



3 どうすれば良いの？

少し具合が悪いか？と感じた時は、まずは、かかりつけ医を受診してください。市立病院での診療が必要な場合は、かかりつけ医からの依頼（紹介）により、市立病院が診療します。その後、症状が安定した患者さんは、当院からかかりつけ医に紹介します。

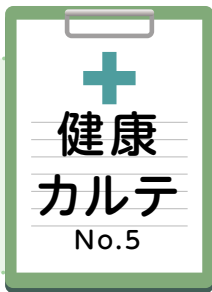


4 市立病院から見捨てられる？

ご安心ください。症状が安定したからです。(症状が安定するまでは、市立病院が責任を持って診療にあたります。)その後、専門的な検査や治療が必要になった場合は、改めてかかりつけ医からの依頼（紹介）により、市立病院が診療します。これが市立病院とかかりつけ医との地域医療連携！市立病院とかかりつけ医の医師がダブル主治医として、患者さんの診療を担当します。

5 さらに！市立病院の活用方法！

かかりつけ医からの紹介状をお持ちの場合、市立病院予約センターで患者さんからの予約を電話でお受けします。紹介状をお手元にご用意のうえ、予約センター（0465-34-3170）にご連絡ください。(月～金 9:00～17:00) (「市立病院の診療科が分からない」などの場合は、患者さんからではなく地域の医療機関からの予約をお受けします。)



はくないしょう 白内障について

眼科 科長
曹 洋喆



白内障とは加齢などで水晶体が濁る病気です。霞みや眩しさなどの症状が出現し、視力が低下してきます。手術が唯一の治療方法で、通常は局所麻酔で10分～15分程度で終了します。白内障手術では濁った水晶体の代わりに眼内レンズを挿入するため、眼内レンズの度数を選ぶことで遠視や近視、乱視も矯正できます。当院では原則として2泊3日の入院で手術を行っています。

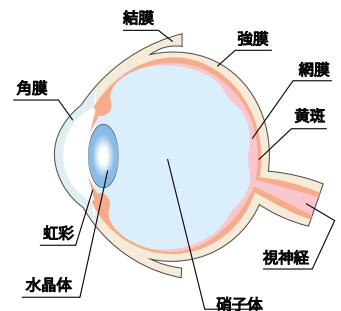
眼内レンズには単焦点レンズと多焦点レンズがあります。単焦点レンズは保険診療ですが、単一の距離でのみ焦点が合うため、焦点の合わない距離を見る際には眼鏡が必要になります。当科では、保険診療の単焦点眼内レンズを選択された方でも、眼鏡なしでよく見えるように乱視の強い約3割の方に乱視矯正用の眼内レンズを使用しています。

これに対して多焦点眼内レンズを用いた白内障手術は厚生労働省の定める先進医療で、当院も2018年に施設認定を受けました。手術以外の診察・検査・投薬・入院料等は保険診療ですが手術は自費診療となり、当科では乱視有り無し共に

400,000円に設定しています。民間の医療保険で先進医療特約を付帯している方は自費診療分が全額給付される場合がありますので、保険会社にご確認ください。

当科で主に採用している多焦点眼内レンズは、最新のEDOFレンズ（焦点深度拡張型レンズ）です。遠方から50～70cm程度の距離まで広範囲に焦点が合います。手元の見え方はやや弱いため手元をはっきり見たいときには眼鏡が必要になりますが、術後全く眼鏡を使用されない方も多く、単焦点レンズに比べて眼鏡の依存度を大幅に減らすことができます。当科では1割弱の患者さんに多焦点眼内レンズを挿入しています。ご希望の方はご相談ください。

白内障手術では早期の視力回復、社会復帰が可能ですので、霞みや眩しさを感じる方、特に遠視・近視・乱視の強い方は当科を受診してみてください。



HEALTHY COOKING

目にいい料理レシピ ～なすと赤玉ねぎのマリネ～

アントシアニンは眼精疲労や視力を回復する効果があるとされています。

アントシアニンが多く含まれる食材としてブルーベリーが有名ですが、

その他にもなすと赤玉ねぎなどの紫色や赤色をしている食材には、

アントシアニンが多く含まれているものが多いです。

普段の食事にうまく取り入れていきましょう。



★材料（4人分）

- なす 200g（中2本）
- 赤玉ねぎ 260g（大1個）
- しょうゆ 大さじ1と1/2杯
- 酢 大さじ1と1/2杯
- めんつゆ 小さじ1杯
- 砂糖 小さじ1杯
- ごま油 小さじ1杯
- 一味唐辛子 適量
- 白すりごま 大さじ1杯
- 万能ねぎ 20g（約4本）

★作り方

- ① なすは乱切り、赤玉ねぎは薄切りにする。耐熱皿に入れラップをかけ、電子レンジで柔らかくなるまで加熱する。
※加熱が終わって水分が多い場合は、水分を切る。
- ② 調味料は合わせておき、一味唐辛子と白すりごまと一緒に、①に加えてよく混ぜる。
- ③ 粗熱が取れたら冷蔵庫でよく冷やし、小ねぎを盛り付ける。

栄養価（一人分）

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物
65kcal	2.0g	1.8g	11g